

新潟大学における女性研究者の育成・支援

【組織概要】

新潟大学は、平成19年12月に「女性研究者支援室」を設置し、翌年「キャンパスシッターによる育成・支援プラン」が平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択されたことを推進力として、さまざまな環境整備を行ってきた。事業終了後の平成24年4月には男女共同参画推進室として再編し、専任教員2名を配置して、「両立支援」と「次世代育成」の2つの事業を継続発展させている。平成26年5月現在、本学の女性教員比率は15.2%であるが、初の女性理事就任もあり、女性研究者のさらなる『育成と支援』を推進強化している。

【主な取組み】

1. 仕事と生活の両立支援

①「新大シッター」による大学構内での一時的な保育支援

保育の利用は年々増加しており、休日の保育支援を求める教員にとってなくてはならない制度となっている。平成25年度の運用実績は、利用した教員はのべ39名、保育した子どもはのべ59名で支援時間は272時間、担当した新大シッターはのべ106名である。当初保育していた子どもたちは成長して小学生となり、新規利用者が増えている。新大シッターの保育は地域等でも周知されるようになり、入学前から活動意思を持っていた学生が増えつつある。

②研究補助者の雇用制度

平成25年度はのべ14名、平成26年度はのべ12名の支援を行った。新規応募者が増え、制度の継続が強く望まれていることから、今後ますますニーズが高まると考えられる。

③女性のキャリアアップ・地域連携事業

医師キャリア支援センターや新潟県との連携による 医学生対象キャリア形成支援セミナー「懇話会」、 「デートDVセミナー」、女性教員ネットワークの形成を目的とした「男女共同参画勉強会」や「ランチ ヨンミーティング」、などを企画実施している。

2. 次世代の女性研究者育成支援

①「新大Wits」による「サイエンス・セミナー」

女性研究者の裾野拡大と育成を目的として、大学院生“新大Wits”が中高生に対してセミナーを実施している。平成25年度は、のべ27校3,826名の中高生が受講した。受講者や学校関係者から高い評価を受けるとともに、担当した大学院生のキャリアアップにつながっている。

②女子中高生の理系進路選択支援

JSTの女子中高生の理系進路選択支援プログラム「あたりまえに理科しよう！放課後リケジョ塾 in 新潟」により、中学校・高校訪問型の理系進路相談会を定期開催している。また、長岡工業高等専門学校、新潟大学理学部・工学部・農学部との連携による女子中高生向けイベントを多数実施している。

③次世代育成に関わる授業の開講

学部では「研究者の仕事と生活」（1単位）、「大学生のための役に立つ育児学」（1単位）、大学院自然科学研究科では「ワーク・ライフ・バランス」（1単位）を開講している。

3. その他

新たな取り組みとして、国際的に活躍する女性研究者の育成・両立支援を目的とした国際研究活動保育支援の制度化へ向けた準備を進めている。

【連絡先】 新潟大学男女共同参画推進室 室長：佐山 光子

TEL：025-262-7570

FAX：025-262-7572

E-mail：gender@adm.niigata-u.ac.jp

URL：http://www.niigata-u.ac.jp/geo/index.html